

2020年度 恵愛会 事業報告

1. はじめに

2020年度は医療・健診・在宅事業で「地域貢献」できる仕組みづくりを目標に、職員が一体となり病院運営、経営改善に取り組んだ。医療・在宅事業では“地域包括ケア病床の活用”を重点目標に掲げ、入院患者が安心して在宅へ戻れるよう、地域包括ケア病床での看護・リハビリを充実させた。又、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所けいあいを病院内へ移転し、互いの職員が顔の見える連携をすることで、在宅と病院間で切れ目のないサービスを提供する体制を整備した。新型コロナウイルス感染症の対応では、地域内ではいち早く発熱外来を設置、自費のPCR検査の受け入れ体制を構築した。健診事業では、より多くの方に利用して頂けるよう、院内の体制を見直し、広報・営業活動を強化した。今後も地域の期待に応えられるような医療・在宅・健診事業の体制を整備していく。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

科 目	事業別	前年実績	2020年度				対前年 実績比
			予 算	実 績	差 異	対予算比	
医業収益		4,827,862	5,097,120	4,454,759	-642,361	87.4%	92.3%
	病院	4,673,999	4,918,757	4,297,773	-620,984	87.4%	92.0%
	在宅	153,863	178,363	156,986	-21,377	88.0%	102.0%
医業費用		4,975,042	5,120,820	4,630,952	-489,868	90.4%	93.1%
	病院	4,809,034	4,952,848	4,471,770	-481,078	90.3%	93.1%
	在宅	166,008	167,972	159,182	-8,790	94.8%	95.9%
経常利益		-135,282	100	-101,218	-101,318	-	-
	病院	-123,456	-10,291	-99,172	-88,881	-	-
	在宅	-11,826	10,391	-2,046	-12,437	-	-
当期純利益		-135,141	100	84,125	84,025	-	-
	病院	-123,315	-10,291	86,171	96,462	-	-
	在宅	-11,826	10,391	-2,046	-12,437	-	-

2. 聖隷富士病院

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行、医師体制の変更など、厳しい病院運営を迫られる年であった。そのような状況の中、“地域に貢献できる医療を目指す”という病院理念に立ち返り、地域包括ケア機能の充実、健診事業の拡大、医師体制の充実、経営基盤の安定化を重点目標に掲げ取り組んだ。

1. 経営の安定化による事業の継続と発展

- ・ 地域包括ケア病床の有効活用【平均患者数 +8.8名】
- ・ 新規施設基準の取得【地域包括ケア入院料 2→1、看護職員夜間配置加算 12 対 1、患者サポート体制充実加算】
- ・ 健診受入体制の整備、営業強化【協会けんぽ+130件、特定健診+54件】
- ・ 委託費、保守費、保育園運営費等の見直し【2021年度より 年額▲3,600万円】
- ・ 医師体制の充実【透析診療体制の維持、リウマチ膠原病科の診療開始】

2. 地域の医療提供体制に寄与できる病院機能の整備

- ・ 地域包括ケア病床と在宅の連携強化【訪看・居宅けいあいを院内へ移転】
- ・ 地域からの入院受入強化【転院受入 +21件、レスパイト +3件】
- ・ 富士脳研より非常勤医師1名を招聘【紹介+5件、逆紹介+7件】
- ・ CT、MRIの有効活用【紹介C・契約CT +43件、紹介・契約MRI +319件】
- ・ 新型コロナ発熱外来の設置・運営、PCR検査体制の確立【PCR検査 1,591件】

3. 安全で質の高い医療の提供

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対策実践
- ・ 5S活動の実践

4. 人材確保と育成の推進、労働環境の整備

- ・ 医師3名の採用【内科、透析、リウマチ膠原病】
- ・ 非常勤医師の招聘【2021年4月～ 泌尿器、脳外、整形】
- ・ 夜勤インターバルの変更に伴う評価、アメニティの導入
- ・ 職員満足度調査の実践、各種研修への参加

5. 地域貢献への取組み

- ・ 県立富士特別支援学校より職業体験1名を受入
- ・ 省エネ対応車への切り替え、感染性ダンボール容器の導入

	前年実績	予 算	実 績	対予算差	対前年差
入院一日平均患者数 (人)	90	97	91	▲6	1
単価 (円)	57,499	56,300	53,513	▲2,787	▲3,986
外来一日平均患者数 (人)	464	491	395	▲96	▲69
単価 (円)	20,764	20,500	21,812	1,312	1,048

※外来には人工透析含む

3. 在宅(訪問看護ステーションけいあい・かみや、居宅介護支援事業所けいあい)

近年、少子高齢化が進む中、住み慣れた地域で自分らしく人生の最期まで過ごすことができるよう、医療、介護、予防、生活支援サービスなどが一体となって地域内で提供できる「地域包括ケアシステム」の構築が進められている。訪問看護ステーションでは、特に医療と介護をつなぐ役割が求められているが、2020年度はコロナ感染症対策を講じてサービスを提供した。訪問看護利用者は、両事業所を合わせ、利用者数月平均175名、新規依頼は月平均約12名、在宅看取り数は両事業所合わせ51名を越えた。居宅介護支援の利用者は、月平均140名、新規依頼は平均5名であり、医療ニーズの高い方・高齢者の単独世帯や夫婦、重度の認知症の方、困難事例や軽度者まで断ることなく受け入れを行なった。今後も働き続けられる職場作りと人員育成に注力し、地域の人々が医療と介護を安心して利用できるよう、取り組んでいきたい。

【在宅事業理念】

利用者が住み慣れた地域社会や在宅において、安心して安全に暮らせるよう、地域に根ざした質の高いサービスを提供します。

【2020年度重点施策】

1. 経営の安定化による事業の継続と発展
2. 地域の在宅医療・介護提供体制に寄与できる在宅機能の整備
3. 安全で質の高い在宅サービスの提供
4. 人材確保と育成の推進、労働環境の整備
5. 社会貢献への取り組み

【経営指標】

総収益	179,100 千円
訪問延べ件数	1,440 回/月
訪問看護単価	8,000 円
居宅介護延べ人数	150 人/月
居宅介護単価	13,300 円
平均職員数（正職員・準職員）	27 名

【2020年度の主な行事】

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月 1日
新人防災研修	4月 2日
理事会	5月19日、3月15日
評議員会	6月 4日
聖隷福祉事業団監査室関連法人外部監査	6月24日
聖隷福祉事業団施設基準内部監査	7月29日
医療安全研修（デスクネット開催）	8月24日～31日
総合防災訓練（デスクネット開催）	9月 7日～17日
中堅ステップアップ研修	9月 9日
安全衛生委員会講習会（eラーニング）	9月 1日～15日
患者満足度調査（透析・入院）	10月(1ヶ月間)
患者満足度調査（外来）	10月 8日・26日
新人研修	10月16日～17日
役職者研修	10月28日、11月25日
2年目研修	11月 7日
夜間火災避難訓練（デスクネット開催）	12月 7日～17日
聖隷福祉事業団監査室フォローアップ監査	1月14日
富士特別支援学校現場実習	2月15日～19日
トリアージ訓練（デスクネット開催）	3月 8日～19日